



## アラグスクガー(シマヌカー)

市立博物館所蔵の写真より

これまで「茶ぐわ〜ゆんたく」では、市立博物館が所蔵する写真を紹介してきました。これらの写真は、戦前に撮られたものから最近撮影されたものまで様々で、被写体も街の風景や文化財、イベントなど多岐にわたります。現在、これらをよくの方に見て頂けるよう整理しているところです。今回は、このような写真資料の中から前回に引き続き、湧泉ゆうせんの写真を紹介します。

左の写真は、新城集落のムラガー(村泉)として利用されていた湧泉です。シマヌカーやイースカーとも呼ばれていましたが、別の



▲アラグスクガーの入口  
1990年代頃に撮影された写真です

集落からはアラグスクガーとも呼ばれていました。

戦前の新城集落は、小字新城原こあきあきすはらにあり、アラグスクガーは集落南端にある村屋ムラヤ(現在の公民館)から更に180m程南東へ進んだ集落の外れにありました。言い伝えによると、干ばつがあつた際に水に濡れた猫が縦穴から出て来たことをきっかけに発見されたそうです。

水場は洞窟内にあり、階段を下りると、洗い場や溜池が造られています。さらにその奥へ進むと、大きなドーム状の広場になっており、昔はこの場所で村芝居の稽古をしたという話もあります。また、戦時中は約300人もの住民が避難しましたが、その全員が米軍の捕虜となり、命を落とさずに済みました。

アラグスクガーは、普天間飛行場内に位置するため、現在ではなかなか立ち入ることはできません。このような貴重な写真・懐かしい写真をお持ちの方は、是非博物館まで情報をお寄せください。

(伊藤 圭)

【お問い合わせ】市立博物館 ☎870-93617



▲アラグスクガー  
湧口には3つの香炉があります

## はくぶつかんの部屋

55  
宜野湾市の歴史や文化などを紹介します。



### 今年も博物館イベントあります!

いよいよ本格的にあつつい夏ですね!「今年には夏休みが短くて遊べないなあ」と思っている子ども達や保護者の皆さん、博物館へ遊びにいらつしやうい!夏の市立博物館では、子ども達が楽しめるイベントを開催します。

7月25日(土)から開催の企画展「意外と知らない!身近な昆虫の世界」では、標本や写真で基本を学び、少しかだけ昆虫に詳しくなれる!昆虫に興味のある方も苦手な方も、ぜひ足を運んでみてください。さらに、8月16日(日)には小学4〜6年生向けの講座「森川公園の昆虫観察」で、前館長の千木良芳範先生と一緒に自然の中で昆虫を探して



▲昨年のこども博物館教室の様子(「葉っぱのおもちやをつくろう」)

みましよう!

また、8月15日(土)開催の「こども博物館教室」(小学3年生〜中学3年生対象)では、沖縄こどもの国の協力を得て、科学実験ショーと工作を行います。液体窒素で様々なものをヒンヤリさせる実験と、動物のうんちを材料にしたストラップを作ります。今年の夏は、いつもの博物館ではあまり無い体験ができちゃうかも…?

今年度は、スタッフのマスク着用や毎定期的な館内の消毒など、コロナウイルスの感染防止に努めながら、たくさんの方のイベントを企画しています。講座などは事前申込制のうえ定員がありますので、参加をご希望の方はお早めにお申し込みください。

皆さんのご来館をお待ちしております!

【お問い合わせ】市立博物館 ☎870-93617  
※講座などの申込みについては、市報の「募集」お知らせページをご覧ください。

### 博物館ご利用の際のお願い

- ・ご来館の際は、必ずマスク着用、手指の消毒をお願いします。
- ・体調が優れない場合は、入館をご遠慮ください。
- ・団体の代表者の方は、3密にならないよう配慮をお願いします。なお、当面の間は博物館スタッフによる展示案内をお断りしております。
- ・体験コーナーなど、展示の一部がご利用いただけない場合がありますので、予めご了承ください。